2015～2024 年度に山本保健薬局で実務実習を実施した薬学部生の方へ

-「薬局実習修了学生の「未来の薬局」に関するイメージの経時変化に関する研究」へご協力のお願い-

山本保健薬局では皆さんが実習終了時に提出していただいた感想文「20 年後の薬局」を用いて、以下の研究を実施します。情報が研究に使用されることについて、ご自身もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究課題名	薬局実習修了学生の「未来の薬局」に関するイメージの経時変化に関する研究
研究の意義・目的	2006 年度から薬学教育は 6 年制へと移行し、実務実習は薬局 11 週間、病院 11 週間を原則とする長期実務実習が開始されました。当初は 2003 年に策定された薬学教育モデル・コア・カリキュラムに基づく教育が実施されていましたが、社会に求められる薬剤師の変化等により 2015 年度入学生より平成 25 年度改訂版 薬学教育モデル・コア・カリキュラムに基づく教育へ変更となりました。また、6 年制への移行から現在までに、薬学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂だけでなく、国の医療計画の再検討、診療報酬改定、新型コロナウイルス感染症の流行などにより、薬剤師に求められる知識、技能、役割は変化し続けています。そこで本研究では薬局実務実習を終了した薬学部生の感想文「20 年後の薬局」を年度ごとに分析し、教育や社会情勢の変化による薬学部生の「未来の薬局」に関するイメージの変化を明らかにすることを目的としています。 本研究は近畿大学薬学部が中心となって行う共同研究であり、山本保健薬局で保管しているデータを近畿大学薬学部に提供し、分析します。
研究を行う期間	倫理委員会承認日 2024 年 4 月 20 日 ～ 2028 年 3 月 31 日
研究協力をお願いしたい方	2015～2024 年に山本保健薬局にて、長期実務実習を実施し、成績評価を終了している薬学部生が対象となります。
研究に使わせていただく情報等	薬局実務実習終了後の感想文「20 年後の薬局」の内容を使わせて頂きます。 なお、個人が特定可能な情報（大学名、氏名）は削除して研究は実施されます。
情報を用いる研究に係る研究責任者	研究責任者氏名：髙橋　克之 研究機関名：近畿大学 薬学部 臨床薬学部門 社会薬学分野 電話番号： (06) 6721-2332　　メールアドレス：k.taka@phar.kindai.ac.jp
試料・情報を利用する者の範囲	この研究は以下に示す研究機関と共同で行います。 近畿大学薬学部 大阪公立大学医学部附属病院
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、不利益等を受けることはありません。
連絡先	近畿大学 薬学部 髙橋　克之 電話番号： (06) 6721-2332　　メールアドレス：k.taka@phar.kindai.ac.jp